

令和8年1月26日

## 次期看護学部長の選考結果及び選考過程について

現看護学部長の任期が令和8年3月31日に満了となることに伴い、令和7年度第9回理事会（令和8年1月26日開催）において、下記のとおり次期看護学部長が選任されました。

### 記

#### 1 氏名及び任期

- (1) 氏 名      わかすぎ さとみ 若杉 里実 氏 （看護学部長，看護学部公衆衛生看護学教授）
- (2) 任 期      令和8年4月1日から令和10年3月31日まで（2年間）

#### 2 看護学部長となることができる者の基準

次の基準を全て満たす者

- (1) 本学の看護学部の教授（看護学部教授会の構成に加わる附属施設の教授を含む。）であって、看護学部の運営・管理に関し識見を有する者
- (2) 看護学部が懸案とする当面の課題（※）を解決する意欲及び能力を有する者

※ 看護学部が懸案とする当面の課題は、以下のとおりとする。

- (1) 質の高い教育を提供するための教員の教育力・研究力向上の推進
  - ① 活潑なFD・SD活動の継続による教育力の向上
  - ② 外部研究費等の獲得のための研究支援体制の充実
  - ③ 次世代リーダー育成と確保
  - ④ 更なる国際交流の推進による国際的視野の拡大
- (2) 看護学部教育課程における教育改革の推進
  - ① 新カリキュラム（令和4（2022）年度開始）の評価と改善
  - ② 令和6（2024）年度改訂版看護学教育モデル・コア・カリキュラムを踏まえた教育改革の推進
  - ③ 多職種連携教育の更なる推進
- (3) 看護学部入学者選抜の改革推進
  - ① 入試実施体制の改善と整備
  - ② 志願者数増加のための取り組みの推進
- (4) 看護学研究科における教育改革の推進
  - ① 博士後期課程の教育の推進と円滑な運営

- ② 修士課程から博士後期課程までの一貫した博士課程教育の確立を見据えた  
修士課程の教育内容の見直し
- (5) 看護職の未来を創造する連携・協働の推進
  - ① ヘルスケア共創センターの円滑な運営と拡充の推進
  - ② 地域貢献に学生が参画できる体制整備

### 3 選考過程及び選考理由

#### (1) 選考過程

##### ① 第1回看護学部長候補者選考委員会（令和7年10月31日開催）

第1回看護学部長候補者選考委員会において、看護学部長候補者の選考基準、看護学部が懸案とする当面の課題、推薦有資格者及び推薦・立候補の受付手続き等について確認を行った。

##### ② 推薦・立候補の募集

令和7年11月4日（火）から同年11月18日（火）まで、看護学部長候補者の推薦・立候補を募集した結果、候補者2名の推薦及び1名の立候補があった。

##### ③ 第2回看護学部長候補者選考委員会（令和7年12月26日開催）

第2回看護学部長候補者選考委員会において、各候補者について、推薦資格を有する推薦者からの推薦であること、立候補資格を有する者からの立候補であること、提出書類に不備のないことを確認した。

##### ④ 第3回看護学部長候補者選考委員会（令和8年1月16日開催）

第3回看護学部長候補者選考委員会において、各候補者から提出された所信・抱負の確認及び各候補者に対する面談を実施し、これらの結果を踏まえ、慎重審議の結果、若杉里実氏を看護学部長候補者として選定した。

##### ⑤ 令和7年度第9回理事会（令和8年1月26日開催）

令和7年度第9回理事会において、理事長に進達された候補者を次期看護学部長に選任した。

#### (2) 選考理由

上記候補者は、愛知医科大学学部長規程第5条第1項に定める看護学部長の基準を満たす者であると判断した。